

## 令和6年度 施設関係者評価表

幼保連携型認定こども園 和合こども園

### 1. 本園の教育・保育理念と方針

元気に遊ぶ・心豊かな子 ～支え合い 分かち合い 認め合いの教育・保育～

◎明るい太陽の下 散歩、どろんこ、水遊び等、戸外活動を通して元気に遊べる健康な子ども

◎ひとりひとりがみな違うことを認め合い、お互いを支え合う、信頼できる仲間づくり

◎安心して過ごすことができる環境で、進んで取り組む意欲・最後までやり抜く力・我慢ができる忍耐力を育む

◎保護者の気持ちをうけとめつつ、安定した親子関係や養育力の向上を目指して、相談・援助していく

### 2. 本年度の重点事項

\*0.1.2歳児については育児担当制を取り入れています。担当保育教諭との信頼関係を大切にして、丁寧なかかわりをじっくり行います。3.4.5歳児は子どもたちの主体的に行動する力が育つよう、生活、遊びの中で子どもたちの考えを尊重し、見守り、発展させます。

<公開保育>

「主体的な活動」とは？子どもたちが考え決定する遊びや活動をどう導くか…まだまだ模索状態の当園です。本日の活動、保育教諭の保育の取り組みにご意見をいただき、さらに学んでいきたいと思えます。

### 3. 評 価 4～0 で評価してください。

4・・・はい（良い） 3・・・概ね良い 2・・・どちらでもない 1・・・わからない 0・・・いいえ（悪い）

	評 価 項 目	評価
1	和合こども園は「認定こども園教育・保育要領」に基づいて教育・保育を提供しています。遊びを中心とした保育活動の中に外部講師による教育活動も取り入れています。上記の和合こども園の理念、方針についてどう感じますか。	4
2	和合こども園は0歳から就学前までの120名余の子どもたちが生活しています。園舎は築40年余が過ぎ、今どきのこども園のように広々していませんが、耐震基準も満たし、リフォームしながら、狭い保育室でも生活環境、遊びの環境を工夫しています。子どもたちが安心して過ごせる環境と感じますか。	3.3
3	保育教諭はどのクラスにも定数以上の配置をしています。「子どもが大好き！」「いっぱい遊ぼう！」の気持ちで教育・保育を提供しています。過熱した不適切保育報道に心が痛みましたが、自分たちの保育の振り返りも定期的に行い、職員間の風通しの良い職場を心掛けています。和合こども園の雰囲気は明るく活気があると感じますか。	4
4	和合こども園は子どもたちの発達や意欲を促す遊具・玩具を選び、ぬくもりを感じられる手作りおもちゃも配置し、昔ながらのわらべ歌も取り入れています。心がざわざわするキャラクターものや電子ゲーム等は使用しない方針です。	3.8

5	各クラス、いろんな個性を持った子どもが在籍しています。どのクラスも定数以上の保育教諭を配置して教育・保育に取り組んでいます。本日の日案の活動のねらいやポイントは適正であり、子どもの主体性を引き出していましたか。	3.5
6	子どもたちが散歩に出かけると、地域の畑から声がかかり、野菜が生長する様子を見せてくれたり触らせていただくことが多くあります。たけのこ掘りやスイカ割り、手作り凧揚げ…とたくさん貴重な経験もさせていただいています。和合こども園は、地域の皆様に温かく受け入れていただき、かかわりを大切にしています。	3.7
7	子どもたちはおじいちゃん、おばあちゃんが大好きです。地域の「新屋ゆとりの会」「喜楽会」との世帯間交流は、核家族世帯が多い園児が交流を通し、祖父母への甘える気持ちを満たし、いたわりや優しい気持ちを育むことができる有意義な活動です。	3.8
8	和合こども園では、子育て支援に取り組み「わわわひろば」を開設しています。地域の親子が気軽に集い子どもたちが安心して遊ぶ場所、親同士の交流を深める場所となっています。民生・児童委員さんの協力も得て、孤立している子育て家庭のひろばへのお誘いも始めました。	3.8
9	個性の強いお子さんや多様な育ちをしているお子さんを支援するため、児童発達支援事業所「ふぁーろ」を併設しています。こども園との並行通園もでき、子どもたちが育ちあうことができます。親子参加や発達相談も受け付けています。	3.8
10	子どもの成長に必要な栄養を考慮した食事、離乳食、アレルギー代替食を提供しています。子どもたちが美味しく、楽しく食事することを大切にしています。保護者には、旬の食材を使う献立や昔から伝わる行事食の紹介など食育活動も行っています。	3.7
11	子どもが安全に生活できるよう、出欠席・人数確認を徹底し、小さなヒヤリハットを検証し事故防止に努めています。また、災害への対応、不審者への対応訓練等、防災・防犯に対する取り組みを行っています。	3.7
12	和合こども園は広報誌やホームページ、インスタグラムによって、和合こども園の様子を公開しています。和合こども園の教育・保育を積極的に発信することで理解を深め、信頼できる園であると感じていただく努力をしています。	3.7

【参加者】園長、副園長、保護者（1名）地域の方（4名）民生委員、保育士養成機関の方からの評価を単純に平均しています。（計7名）

#### 4. 総 評（感じたこと、園に対するご要望 等）

- ・子どもたちが楽しく過ごせる物的、人的環境を整えており、子どもたちは生き生きとしていた。
- ・園の方針の下、職員が同じ方向を見て子どもに向き合いかかわっていると感じた。一人ひとりに寄り添った保育環境で生活でき、子どもは幸せだと感じた。
- ・課題のある子どもたちがいてもふぁーろを利用できる環境はメリットが大きい。
- ・全員が同じ活動ではなく子どもの意思を尊重して遊ばせているのが見えて、園の特色を感じた。
- ・職員が多くて、各クラスの遊びに工夫があり、おもちゃの種類も豊富で色々な事に取り組んでいる園と感じた。
- ・新築したうえで、今後も末永くあってほしい園だと思う。

## 5. 公開保育の実施・関係者評価の分析

日頃から園見学の方や実習生、ボランティアの学生等の来園があり、園に人が来る機会が多く、公開保育当日も普段通りの子どもたちの様子をお見せできたと思います。

0,1,2歳児は、保育者に見守られながら好きな遊びを見つけ楽しんでいる様子を、3,4,5歳児は集団ゲームを楽しんだり、気の合う友だちと一緒に遊びを楽しむ姿を見て頂きました。

公開保育に来てくださった方々からは園児一人ひとりに寄り添い、個々の主体性を意識した保育を褒めて頂きました。

今後の課題としては、大きな集団での活動となると苦手意識を持つお子さんもいるため、就学も視野に入れて集団での活動の楽しさを子どもたちの現状に合わせて展開できるよう考え、保育を工夫していきたいと思います。

また、散歩に出掛けご近所の方と挨拶をしたり、園の行事に地域の方に参加して頂いたり、地域の方のご厚意で筍堀りやすいか割りをして頂いたり、地域交流も盛んに行っています。今後も地域に根付いた園を目指していきたいと思います。

園の改築、建て替えについては長期的な目標として検討していきたい。